

科目名	ビジネススキルⅡ							年度	2026
英語科目名	Business skills Ⅱ							学期	後期
学科・学年	声優・演劇科 1年次	必/選	必	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	長谷川浩司、田中由香	教員の実務経験		有	実務経験の職種		俳優(長谷川)、声優(田中)		
<b>【科目の目的】</b> 声優・俳優問わず、社会人(役者)になるためのスキルを学ぶ。									
<b>【科目の概要】</b> 芸能界を含む、社会において必要な一般常識やマナーを習得し、人間力を養う。									
<b>【到達目標】</b> ビジネススキルⅠで養った学力に加え、さらに基本的な学力向上、教養を身につけることができ、具体的な指標としてビジネス検定3級の取得を目指す。自らの職業観や勤労観といった概念の形成を前提にビジネス常識および、基礎的なコミュニケーション、情報の利活用など、将来、職業人として適応するために身につけておくべき知識をつけることを目標にしている。									
<b>【授業の注意点】</b> 社会人基礎力を養うことが目的であるため、解答を暗記することではなく、問題を読み解く力を身につけることを重要視する。授業中の必要のない私語や受講態度などには厳しく対応し、理由のない遅刻や欠席は認めない。自分の興味のあること以外にも、視野を広げ、社会を広い観点でみるように努力すること。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することはできない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう				レベル1 要努力		
到達目標 A	相手の目を見て挨拶することができる		挨拶することができる				挨拶することが全くできない		
到達目標 B	課題内容を理解し提出(発表)する		課題を提出(発表)する				課題を提出(発表)しない		
到達目標 C	遅刻・欠席をしない		遅刻・欠席が少ない				遅刻・欠席が多い		
到達目標 D									
到達目標 E									
<b>【教科書】</b> レジュメ・資料は必要に応じて配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。									
<b>【参考資料】</b> 就活ドリル									
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> 小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ビジネススキルⅡ			年度	2026	
英語表記		Business skills Ⅱ			学期	後期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	好奇心	物事への好奇心を養う	1 新聞読解	社会情勢を理解する	1		
			2 一般教養	業界だけに拘らず一般教養を得る			
			3 読解力	読み解く力を持つ			
2	プレゼン	プレゼン能力を向上させる	1 思考力	作品理解のための思考力を持つ	2		
			2 発想力	作品から連想される発想力を育む			
			3 プレゼン力	作品を理解しプレゼン力に結びつける			
3	ビジネスマナー	ビジネスマナー習得	1 履歴書作成	好感を持ってもらえる履歴書作成	1		
			2 送付	失礼のない送付状作成			
			3 令状	失礼のない令状の書き方			
1 履歴書作成			好感を持ってもらえる履歴書作成				
2 送付			失礼のない送付状作成				
3 令状			失礼のない令状の書き方				
4		ビジネスマナー	ビジネスメール	1 メール作成			ビジネスメールの作成
				2 やり取り			メールにおけるやり取り
				3 クローズ			メールでのクローズまで
6	電話対応	電話対応	1 企業	好感を持ってもらえる電話対応	2		
			2 事務所	好感を持ってもらえる電話対応			
			3 外部団体	好感を持ってもらえる電話対応			
7	企業訪問	企業訪問	1 挨拶	好感を持ってもらえる訪問時マナー	2		
			2 姿勢	好感を持ってもらえる訪問時マナー			
			3 立ち振る舞い	好感を持ってもらえる訪問時マナー			
8	国語力育成	国語力UP	1 漢字読み書き	漢字読み書き能力を上げる	1		
			2 読解力	台本読解力を育む			
			3 思考力	台本からの思考力を養う			
9	プレゼン	プレゼン能力を向上させる	1 思考力	作品理解のための思考力を持つ	2		
			2 発想力	作品から連想される発想力を育む			
			3 プレゼン力	作品を理解しプレゼン力に結びつける			
10	一般常識	一般常識習得	1 社会全般時事	社会全般時事問題が理解できている	1		
			2 文章	文章作成力が上がる			
			3 語学	第二語学の強化			
11	ディベート	対話と協調	1 主張	自分自身の考え方をしっかり持つ	2		
			2 伝達	自分の言葉で意思を伝える			
			3 協調性	意見交換の中で協調性を育む			
1 主張			自分自身の考え方をしっかり持つ				
2 伝達			自分の言葉で意思を伝える				
3 協調性			意見交換の中で協調性を育む				
13	ラジオドラマ	創造力育成	1 イメージ	音からのイメージ力をもてる	2		
			2 創造力	ドラマを想起できる			
			3 思考力	個々のキャラクターを想起できる			
1 イメージ			音からのイメージ力をもてる				
2 創造力			ドラマを想起できる				
3 思考力			個々のキャラクターを想起できる				
15	模擬オーディション	実践	1 自己PR	しっかりと自己PR出来る			
			2 自己表現	自分自身を余すことなく表現する			
			3 パフォーマンス	オーディションを勝ち抜くパフォーマンスが出来る			

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等